

令和6年2月21日(水) 9:30~11:00

天竜特別支援学校 会議室

1 出席者

(1) 委員

尾関ゆかり氏、石田雄士氏、太田勝久氏、恩田斉氏、山下広矛氏、清水美保氏

(2) 学校関係者

校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務課長

2 内容

(1) 校長挨拶

- ・元旦に、石川県能登半島を震源とした地震が発生した。これは、他人事ではない。今後、大きな震災があったらどうなるか。児童生徒の安心安全について考えていく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う児童生徒の心への影響は大きく、うつ病や摂食障害が増えている。また、不登校の児童生徒も増えている。社会が変化している中で、学校と社会が連携しながら子供たちを支えていくことが大切である。

(2) 本年度の学校経営の反省（校長）

- ・令和5年度 年度末評価（達成状況と評価、来年度案を中心に説明）

(3) 保護者アンケートの結果について（教務課長）

- ・令和5年度 保護者アンケート（改善が必要な項目を中心に説明）

(4) 高等部3年生の進路状況について（高等部主事）

- ・6名が卒業見込みであり、進路はほぼ確定している。
- ・以前は、卒業後は進学する生徒が多かったが、最近は就職する生徒も増えている。
- ・実習先から、実習期間を増やすことで、より生徒のためになるのではないかとという意見を伺った。
- ・生徒の実態や実習先の意見を参考にしながら、来年度の教育課程を見直している。

(5) 意見助言等

委員A…高校生の実習期間はどのくらいなのか教えて欲しい。

学 校…高等部1年生は3日間（1回）、2年生は5日間（2回）、3年生は7日間（2回）実施している。

委員B…ヒヤリハットの共有については素晴らしい取り組みである。子供たちや自分自身を守るためにも良いことである。職場でも不審者対応訓練を実施している。お客様をどうやって守るのかを意識しながら実施している。

委員C…不審者対応訓練をどのように実施しているか。実際に起きそうなことを想

定しながら、児童生徒と一緒にやるのも良い。来年度、あれもこれもやると大変になってしまう。重点的な活動をやっていくと評価点が上がっていく。

委員D…不審者対応について、どのような情報伝達方法をたどっているのか。

学 校…「(場所で)緊急工事です。」という隠語を使っている。不審者対応では、スピード重視になってくる。

委員D…天特は、みゅうの丘で天竜病院と天竜厚生会で連携をしているが、不審者が出た場合も連携しているか。

学 校…児童生徒の捜索の時は、連携することになっている。不審者が出た場合も、連携する必要はあるが新型コロナウイルスになり、少し希薄になっているため、連携していきたい。

委員D…前回の学校運営協議会でも話題になったが、児童生徒たちから地域と一緒に何かをやってみたいという意見があったら教えてほしい。

高等部…高等部は、2回ほどボランティア活動の参加機会があった。しかし、まだ、「外に出たい」という気持ちが薄い。まずは、気持ちを育てるところからスタートさせていきたい。本日、高等部は3年生を送る会がある。

1、2年生は演奏をして、3年生を送りたいと伝えてきた。高等部の良いあらわれとして、先日子育てセンターみゅうの丘に清掃に行った。幼児と一緒に活動している姿が印象的だった。人との関係に不安を感じている生徒が純粋に関わっている姿に感動した。

中学部…昨年度まで厚生会と浜名寮と交流していた。今年は範囲を広げ、より多くの方に和太鼓演奏を披露した。その結果、生徒たちの自信につながり、交流後には、利用者さんと話をする姿も見られた。また、12月は赤佐地区の17名の方とグランドゴルフをやり、交流をした。

小学部…中学部同様にグランドゴルフをやったり、マジックショーを披露してもらったりした。また、天竜厚生会の喫茶店や売店も利用した。外にエネルギーが向かない児童が色々体験している。児童にとってプラスになる。

委員E…子供が登校中、坂を歩いていると必ず止まる車がある。学校ではなかなか言いづらいが、家では訴えている。また、昼食時間にお弁当を食べることができない日が続いたことがあった。今は、別室で食べているが、そういったことをもっと情報共有できるとよい。保護者や子供、それぞれいじめに関して捉え方が様々であると感じている。

校 長…今後も、保護者と本人同意のもと、関係機関同士で情報を共有していく。

委員C…職場環境の充実に向けて、3月に新しい食堂に変わる。今は、昔の食堂という感じだが、今後はカフェ形式のテーブルになる。リラックスした状態で食べてもらうために、1人席や4人席など色々なテーブルを用意している。

(6) 来年度の学校経営について (校長)

- ・令和6年度 学校経営計画 (達成方法と成果目標を中心に説明)
- ・大きくは変えていないが、本年度からより具体的にした。

(7) 意見助言等

委員F…より具体的になっている。社会が変わる中で、社会に合わせる必要もあ

る。学校教育も変わっていかなくてはならないと思う。

3 コンプライアンス委員会

(1) 令和5年度不祥事根絶取組について

令和5年度不祥事根絶取組の報告後、各学部の取組紹介

副校長…教職員の交通事故は1件、不祥事は0件であった。本校には、ヒヤリハット分析シートがなく、ヒヤリハットを学びに変えていくことをねらいとして、年度途中に書式を作成した。みんなで声を掛けあい、組織としてやっていきたい。

小学部…本校は、教員数が比較的少ない。また、教科学習を行っていることから、個々に業務が委ねられていることが大きい。児童などの情報が特定の人しか知らないようなことがないようにしている。紙面などで見える化したり、情報を共有する場を設定したりした。

中学部…職員が、交通事故を起こさないために毎月1回、個々が目標を記入して提出している。互いに相談できるような雰囲気づくりを意識している。また、いつもと何かが違うと感じたら、すぐに声を掛けるようにしている。

高等部…職員室が別棟にある。職場の雰囲気づくりに力を入れた。職員室が明るくなるように、また、生徒たちが職員室に入室しやすいように、笑顔でいた。職員室の雰囲気づくりについては、学年主任会や学部会等で共有した。

事務部…大きな不祥事がなく、困ったことは確認し合って業務を進めた。来年度は、事務室内の雰囲気づくりを行っていきたい。

(2) 意見助言等

委員A…不祥事を防ぐにはコミュニケーションが大事。様々なことを見える化していく。職場内で、コピー用紙の補充を率先してくれる人がいるが、その方に対し、「ありがとう」という言葉が少ないということが分かった。日頃のコミュニケーションが大切。

委員C…企業には、産業医がいる。メンタルヘルス実習を継続的にやっている。交通安全については、警察と連携しながら社員向けに、警察課長からの講話研修を実施している。ハラスメント教育にも力を入れている。

(3) 校長挨拶

- ・心理的安全性が大事である。これは、「自分の考えや意見などを組織のメンバーの誰とでも率直に言い合える状態」のことである。職員も子ども同じである。